

令和4年度日米共同統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

武力攻撃事態等における自衛隊の運用要領及び日米共同対処要領を演練し、自衛隊の即応性及び日米の相互運用性の向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で16回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和4年11月10日(木)～11月19日(土)の間(前後に準備期間及び撤収期間があります)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和4年度日米共同統合演習(実動演習)の 北海道における訓練について

【同演習において実施する北海道内の訓練】

- ① (共同)総合ミサイル防空訓練
- ② 救助訓練等参加のための日米部隊の展開

※訓練内容については、今後、変更の可能性があります。

【新型コロナウイルス感染症対策】

新型コロナウイルス感染症対策については、訓練実施時期における防衛省が定める感染症対策や訓練実施場所における自治体の感染症対策に基づき、訓練を実施します。

なお、次のような対策を講じた上で適切に対応してまいります。

- ・訓練開始14日前からの体調経過観察
- ・ワクチン接種済の者又はPCR検査での陰性確認
- ・住民との接触を極力回避
- ・コロナ患者発生時の速やかな隔離、後送

また、宿泊及び外出についても、訓練実施時期における最新のコロナ感染状況等に基づき適切に対応します。

演習に参加する米軍部隊についても、同様の対応を行う予定です。

(共同)総合ミサイル防空訓練

- ① 三沢沖で実施する総合ミサイル防空訓練に参加するため、米陸軍高射部隊が千歳基地に展開し、航空自衛隊の航空機及び高射部隊とともに、侵攻する経空脅威(航空機、ミサイル等)に対する対処及び連携要領を演練します。

【訓練期間】 令和4年11月10日(木)～19日(土)

【参加部隊】 自衛隊:航空自衛隊(第2航空団、第3高射群等) 米軍:米陸軍

訓練予定場所

千歳基地・三沢沖
航空自衛隊戦闘機等の参加(所在部隊等)

F-15 × 12機程度 EC-1 × 1機程度

千歳基地
米陸軍及び航空自衛隊高射部隊の展開

パトリオット×一式程度

三沢沖において、航空機等による模擬要撃訓練を行います。
なお、実弾(模擬弾含む)は発射しません。

※他県より三沢沖に飛来する航空機については、千歳基地への飛来は予定していません。

他県より・三沢沖
航空自衛隊戦闘機等の参加

F-35 F-2 E-2C YS-11 RC-2

米軍戦闘機の参加

F-16 F-18

救助訓練等参加のための日米部隊の展開

- ② 青森県内で実施する救助訓練・情報収集訓練に参加するため、米空軍及び陸上自衛隊が千歳基地に展開し、当該訓練に参加の都度、CV-22オスプレイが千歳基地を拠点に離発着等を実施します。

【訓練期間】 令和4年11月10日(木)～19日(土)

【参加部隊】 自衛隊:陸上自衛隊 (陸上総隊) 米軍:米空軍(CV-22オスプレイ×4機程度)

訓練予定場所



千歳基地

- CV-22オスプレイが本訓練の離発着及び機体整備等のため、千歳基地に展開
- CV-22オスプレイは、訓練期間中、千歳基地から青森県内の各訓練場所に飛来



CV22オスプレイ(米空軍)

青森県内の訓練場所

- 各訓練場所への移動に航空機(CV-22)を使用します